

## 尾瀬檜枝岐森林環境学習

- ・対象 檜枝岐村小学校1～6年生
- ・教科 理科、社会、総合
- ・単元名 檜枝岐村の森林について
- ・学習のねらい

尾瀬国立公園と当村の河川を利用した森林環境学習を行うことにより、尾瀬の自然の豊かさや森林の成り立ち及び森林生態系について学び、参加者に森林の大切さを感じてもらい、森林環境学習の中で炊事体験も実施することにより、森林の中での楽し

か

った思い出が子供たちを将来村にUターンさせるきっかけとなり、今最も問題となっている少子高齢化等への解決にも繋がることを目標とする。

自然だけでなく生物も含めた森林生態系についても学習するため、檜枝岐川ヘイワナを放流させ、実際の体験を通して豊かな自然や森林を保全していく大切さや重要性を学習する。

### ①「尾瀬の自然水」ができるまで（10分）

- ・檜枝岐村で販売している「尾瀬の自然水」を参加者に配布し、この水が尾瀬国立公園の広大な原生林の一枝一葉のしずくを集め、幾重ものフィルターをくぐり抜けて作られていることを説明し、おいしい水ができるには森林が必要だということを気付かせたい。（雨天のためバスの中）

### ②自然散策（2時間）

- ・尾瀬植物手帳を配布し、ガイド案内のもと、尾瀬国立公園内を散策する。森林の成り立ちや森林生態系について学び、湿原のニホンジカ被害等も見学することにより、森林の大切さを感じさせたい。
- ・尾瀬ブナの森ミュージアムにて、尾瀬国立公園の全景、文化や歴史等について理解を深めさせたい。

### ③イワナの放流（30分）

- ・檜枝岐村の代表的な魚であるイワナを放流することにより、生物を含めた森林生態系についても学習し、森林を保全していく大切さや重要性を気付かせたい。

### ④炊事体験（30分）

・森林の中で子供たちが食事を作り、実施した環境学習について語らいながら皆で食事をする事により、今回の環境学習が楽しかった思い出となり、子供たちを将来村にUターンさせるきっかけとしたい。

